



認定特定非営利活動法人 2014.11.17 Vol.101

日本災害救援ボランティアネットワーク
Newsletter

響想の社会をめざして

丹波市豪雨災害被災地 先遣隊派遣

8月19日(火)、朝からNVNAD関係者で、8月16日～17日にかけての局地的豪雨の影響により甚大な被害を受けた兵庫県丹波市の被災状況を把握の為、先遣隊を派遣しました。まず、「丹波市災害ボランティアセンター本部」(ハートフル春日内に設置)に立ち寄り、兵庫県社会福祉協議会や丹波市社会福祉協議会のスタッフの方から被災状況やボランティアの受付状況などについてお話をお聞きしました。そのあと、兵庫県社会福祉協議会のスタッフの案内で、市島支所に立ち上がった「災害ボランティアサテライトセンター」経由で、市島町前山(さきやま)地区に向かいました。川沿いに集落が点在しており、土砂崩れや川の氾濫などにより、民家には大量の土砂や丸太などが流れ出している状況の中、すでにボランティアの皆さんが土砂のかき出し作業などを行われていました。ただ、流れ出した土砂の量は相当なものになっている様子で、重機などの機械が入らない民家や場所は、ボランティアの手作業で行うしかないといった状況でした。まだまだボランティアは必要だと感じました。

その結果、8月24日(日)に、西宮市社会福祉協議会と共同で、丹波市にボランティアを派遣することに決定しました。



- c o n t e n t s -

- P 1 丹波市豪雨災害
- P 2 VISION117 / 丹波市災害ボランティア派遣活動状況
- P 3 野田村ボランティアバス派遣 / 野田村ファンクラブのつどい /
. . . . ボランティア受入セミナー
- P 4 佐用町訪問 / 子ども防災クラブ / 宝塚市親子防災講座
- P 5 KSNプロジェクト / 西宮総合防災訓練 / 尼崎防災マップ事業 /
. . . . 津市民防災大学 / 伊丹市防災講座
- P 6 防災マップ作成会 / 高木秋まつり / Nごよみ
- P 7 Nうごき
- P 8 会員・寄付者・募金者のみなさま / カレンダー市 / 編集後記

VISION 117

10月23日、新潟県中越地域では、中越地震から10年の日を迎えました。今年も、私は、学生ボランティアらとともに、小千谷市塩谷集落にある慰霊碑の前で、その時を迎え、ろうそくの灯りに包まれて黙祷を捧げて参りました。その後、集落の集会所に立ち寄って、皆さんとあの日を振り返るのも恒例になってきました。今年も、10年だから区切りにしたいという意見と、10年だからといって特別なことは何もしなくて良いという意見が同時に聞かれました。

塩谷集落では、残念ながら当時小学校高学年の子供ばかり3名が地震の犠牲になりました。10月23日には、同級生だった子供たちが毎年慰霊碑を訪れていました。制服姿でした。今は、もう制服姿はありません。もう制服を着る年齢ではなくなったからです。

塩谷を訪れる学生さんには、幼い子供が犠牲になったんだと説いてきました。中越地震の当時の幼い子供 - それは、今訪れている学生さんたちなのだと思われかされます。10年という月日の重みを感じます。

たしかに、10年だからといって特別なことはないのかもしれませんが、しかし、一方で、10年ということに徹底的にこだわってみることもできるかと思っています。例えば、10年前の自分に語りかけてみる。あの日からどんな10年を過ごしてきたのか。あるいは、10年後の自分に語りかけてみる。これからの10年はどのように過ごしていくのか。実際に、10歳若い人と話して



みてはどうでしょうか。自分が震災で苦労した年齢に達した人です。10歳年上の人と話してみてもいいでしょうか。どんな風に自分が重なるでしょうか。

中越地震が発生した翌日から関わり続けさせていただいているNVNADとしましても、10年という時間の重みを感じざるを得ません。それは、もう目の前に迫った阪神・淡路大震災から20年をどう迎えるかということへの問いかけでもあります。

「あの日あの時」に想いを馳せ、そこからの時間の重みを噛みしめて過ごしたいものだと思います。その上で、NVNADとしましても、さらに想いのこもった救援活動を展開し、復興に向けて寄り添い続け、そして、各地で防災活動への有意義な取り組みが進むように、地道に動いていきたいと考えております。

引き続き、ご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。（理事長 渥美 公秀）

丹波市への災害ボランティア派遣活動状況

日程	派遣人数	派遣場所	活動内容	備考
26.8.19	2	丹波市先遣隊派遣	被災状況把握	
26.8.22	2	丹波市市島町	現地調査	
26.8.24	30	丹波市市島町	泥出しなど支援活動	西宮社協と共催（5名）
26.8.29	17	丹波市市島町	泥出しなど支援活動	西宮社協と共催（7名）
26.9.6	6	丹波市市島町	泥出しなど支援活動	
26.9.10	6	丹波市市島町	泥出しなど支援活動	
26.9.18	3	丹波市市島町	泥出しなど支援活動	
26.9.23	6	丹波市市島町	ニーズ調査及び支援活動	
26.9.26	2	前山地区復興支援センター訪問	ニーズ調査及び支援活動	
26.9.30	2	前山地区復興支援センター訪問	ニーズ調査及び支援活動	
26.10.6	1	前山地区サテライト訪問	支援活動	
26.10.~10	1	前山地区サテライトボランティア派遣	支援活動	
26.10.10	1	前山地区サテライト訪問	支援活動	
26.10.18	6	前山地区サテライト訪問	支援活動	シャルレから被災地へ肌着の提供
26.10.24	1	前山地区サテライト訪問	支援活動	

* 交通手段は、現地の乗り入れ等の状況により、ワゴン車等を利用しました。

第23弾

野田村ボランティアバス派遣



9月12日(金)~16日(火)の日程で、岩手県野田村にボランティアバスを派遣しました。今回は関西学院大学社会学部とバス2台を運行し、参加者は関西学院大学の先生・職員、および、学生さんたちを中心に、大阪大学災害ボランティアサークルすずらのメンバーなどを合わせて計38名の参加でした。

1日目(13日)の活動は、午前中は、翌日のイベント案内のため仮設住宅でのピラ配りや、流しそーめんの準備作業、あるいは、昼からのまち歩きの準備や、復興住宅でのBBQのお手伝いなどを行いました。昼食後は、野田村役場横の総合センターの会議室をお借りして、チーム北リアス事務局員から被災状況の説明を聞いたあとに、4名ずつ9班に分かれてまち歩きを行いました。その後、陸中野田駅から三陸鉄道に乗り、2駅先の堀内(ほりない)駅で下車して国民宿舎えぼし荘に移動し、1日の活動のふりかえりを全員で行いました。

2日目(14日)は、野田中仮設住宅の集会所をお借りして、全員でハンドアロマの練習を行いました。その後、野田中仮設住宅、泉沢仮設住宅、米田(また)仮設住宅の3カ所にそれぞれ分かれて、住民の皆さんと交流を目的に、流しそーめんやハンドアロマ、お茶会などの準備作業を行い、12時頃から流しそーめんを開催しました。そして、集会所や談話室をお借りして、ハンドアロマやお茶会なども開催させていただき、仮設住宅の皆さんとなごやかなひと時を過ごすことができました。また、泉沢仮設では、野田村社会福祉協議会のご依頼で、仮設から出られた方のお部屋の清掃作業のお手伝いもさせていただき、夜はえぼし荘にて、1日の活動のふりかえりを行いました。

3日目(15日)は、えぼし荘の敷地をお借りして、下安家(しもあつか)仮設住宅や高台移転された皆さんと流しそーめんやハンドアロマをさせていただきました。その他のメンバーは、復興住宅での流しそーめんや農家の草刈りのお手伝い、あるいは、野田中仮設住宅で手芸交流などにも参加しました。夕方は、全員総合センターに集合して、ふりかえりを行いました。昼間は少し暑いぐらいのいいお天気にも恵まれ、参加した学生さんの中には野田村の方々との再会をととても喜んでいたり、あるいは、初めて野田村を訪れた学生さんたちも、野田村の皆さんの優しさや素敵な景色や美味しい食べ物などにととても感動していた様子でした。今回のボランティアバスでも、たくさんの野田村の方々と交流をさせていただくことが出来ました。このつながりをこれからも大切にしていければと思っています。色々とお世話になった野田村の皆さん、本当にありがとうございました。(事務局)



~ 第8回野田村ファンクラブのつどい ~



10月8日(水)19時~21時、西宮市大学交流センターにて、第8回野田村ファンクラブのつどいを開催しました。このファンクラブは、東日本大震災の被災地である岩手県野田村の支援に関わった関西学院大学社会学部、大阪大学災害ボランティアサークル「すずらん」、NVNADの3団体を中心となり、野田村のファンを関西でも増やして行こうという趣旨で開催してきています。今回は26名が参加しグループ

で自己紹介を行ったあと、8月の夏祭り、9月のボランティアバス、すずらの民泊など、野田村での活動について、それぞれ担当者から活動報告をしていただきました。その後、野田村の魅力や野田村のことを知らない人にPRしよう!という想定で、グループごとにテーマ「海・山・産業・人・文化」を選んでもらい、最後に野田村の魅力をPRしていただきました。これからもこのような機会を通じて、野田村のことを広げていければと思います。(事務局)

ボランティア受入セミナー

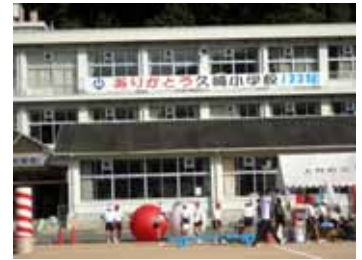
9月6日(土)、西宮市市民交流センターにて、ボランティア受入セミナーを開催しました。今回は、神戸にある認定NPO法人コミュニティサポートセンター神戸から講師をお招きし、ボランティアを受入れるにあたってのポイントや注意点などを中心に、ミニ講演と座談会を行いました。参加者からは、ボランティアの対応についてとても参考になったとの感想を聞くことができました。とても有意義なセミナーとなりました。

(事務局)

佐用町訪問

9月27日(土)~28日(日)、チャコネット(佐用町学生支援ネットワーク)の学生さんたちと一緒に佐用町を訪問しました。27日(土)夜に到着し、昼間のコミュニティカフェの活動には参加できず、また、翌日28日(日)も久崎小学校の最後の運動会が開催されましたが、昼から宝塚で親子イベントがあり、残念ながら運動会には参加できませんでした。残念ながら久崎小学校は来年3月に閉校となり、上月小学校に統合されますが、これから子どもたちとはイベントなどを通じて交流できればと思います。

10月19日(日)、今回は前日に兵庫県丹波市へ行っていたため、日帰りでの参加となりました。前日18日(土)から入っていたチャコネットの学生さんたちは、竹炭焼き用の竹を準備するために、竹炭焼き師匠と一緒に竹切り作業を行っていただきました。19日(日)は昼過ぎに久崎に到着し、コミュニティカフェに参加させていただきました。この日もたくさんの住民がカフェに来て下さり、とてもなごやかで会話も弾んでいました。(事務局)



子ども防災クラブ



防災チャレンジキャンプ

『絆(きずな)・つなげよう みんなの輪(わ)』

8月6日(水)~7日(木)の日程で、子ども防災クラブのキャンプを実施しました。場所は、佐用町の南光自然観察村に行きました。今回のテーマは『絆(きずな)・つなげよう みんなの輪(わ)』ということで、自炊をしたり、川遊びをしたり、竹炭石けんを作ったり、また今回は、全員でTシャツづくりをやりました。天候が不順だったために、テントの設営は残念ながら出来ませんでした。子どもたちも他のメンバーや学生リーダーとも協力しながら、色々有意義な体験ができたのではないかと思います。



避難訓練



10月25日(土)、第3回目の子ども防災クラブを開催しました。今回のテーマは『避難訓練』。西宮市社会福祉協議会の高木分区の皆さんにご協力いただき、車椅子に乗って高木センターから避難所に指定されている高木小学校まで、子どもたちがペアになって避難体験を行いました。途中、災害時に危険な場所や、車椅子で避難する場合に気になる場所などを地図上でチェックしてもらい、高木小学校に到着してから班でまとめて発表しました。



「段差がすごく気になった」「曲がり角では、車椅子の方が先に出るので、押す人は注意が必要」など、色々気づきがあり、とても大切なプログラムになりました。高木分区の皆さん、ありがとうございました。(事務局)

宝塚市親子防災講座開催

9月28日(日)、宝塚市立勤労市民センターにて、「危ない! みんなでカエルさんを救い出せ」という親子防災イベントが開催され、講師として参加しました。防災クイズや東日本大震災のお話にはじまり、神戸にあるNPO法人プラスアーツさんから借りた、炎やカエルさん人形などの備品を使って「水消火器でのあてゲーム」や「毛布で担架タイムトライアル」といったプログラムを実施させていただきました。参加した子どもたちは、楽しみながら、かつ真剣に取り組んでいたのがとても印象的でした。このように楽しみながら防災を学べる体験プログラムの大切さを改めて感じました。宝塚NPOセンターの皆さん、ありがとうございました。(事務局)



KSNプロジェクト

8月21日(木)10時~16時、西宮市立若竹公民館にて、KSN(関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNAD)主催でランチ交流会を開催しました。西宮市などに県外避難されている子どもたちを対象に、この日はホットドックやサラダを作ったり、ご家庭へのハガキづくりなどを行いました。子どもたちにとっては夏の思い出になったのではないのでしょうか。これからも活動を継続していければと思います。



10月26日(日)、関西学院大学にて、KSN(関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNAD)主催で交流イベントを開催しました。今回は「ハロウィンパーティ」ということで、参加した子どもたちが自分で作製したハロウィン衣装を身にまとい、大学構内でゲームにチャレンジしたり、記念写真などを撮りました。また、保護者の皆さんはカフェでお茶などを飲みながら、ゆったりとした時間を過ごしていただきました。お天気にも恵まれ、ハロウィンパーティは大盛況となりました。企画して下さいました関ゼミの学生の皆さん、ありがとうございました。(事務局)



(事務局)

西宮総合防災訓練

11月5日(水)「津波防災の日」西宮総合防災訓練が市立中央体育館で開催されました。

当日は、各公共機関や地元中学生他多数参加され盛大に行われました。

NVNADも参加し、西宮市社会福祉協議会の主導により、災害ボランティアセンターの立ち上げ、ボランティアの受付、ニーズ調査等行いました。この訓練を教訓にこれからの支援活動に活かしていきたいと思ひます。(事務局)



尼崎防災マップ事業実施

9月17日(水)、尼崎市の武庫地域で、防災マップ事業が開催され、参加しました。

午前中は、北と南の2つの地域をグループで回りながら、危険箇所や避難所などのチェックをしたり、写真を撮ったり、会場に戻ってから大きな地図に落とし込む作業をしていただきました。

「避難所となっている学校のカギは誰が持っているのか」「避難所に指定されている学校だけで避難者全員が収容できるのか」などの指摘も出ていましたが、この防災マップ事業を通じて、災害時の色々な課題を検討していけることも、とても大切だと思ひました。(事務局)



津市民防災大学開催

10月4日(土)、津市民防災大学が津市中央公民館にて開催され、「タウンウォッチング&災害図上演習」を担当しました。参加者は4グループに分かれ、午前中は地図やデジカメを持って街に出て、災害時に危険な箇所や気になる場所をチェックしていただき、会場に戻ってから地図上に整理していただきました。また、午後からは、大きな地図を使って、南海トラフ大地震が発生したとの想定で、海岸に遊びに来ていた約5,000名の人たちの避難方法



についてグループで考えていただきました。そして、災害ボランティアセンターを設置するとしたらどこがいいか、施設の名称とその理由を考えていただき、最後に、午前中のタウンウォッチングで発見したことや、午後からの避難方法や災害ボランティアセンターの設置場所などについて、グループごとに発表していただきました。受講生の皆さんの熱心さに感心させられました。(事務局)

伊丹市防災講座開催

9月29日(月)、伊丹市立女性・児童センターにて、「今すぐ役立つ防災ワークショップ」が開催され、NVNADの理事二人が講師を務めました。午前中は、防災ゲーム「クロスロード」の体験や、東日本大震災での活動紹介などをスライドでさせていただき、午後は、毛布やダンボールをお借りして避難所体験プログラムを実施しました。食料やトイレの問題など、日頃から少し知っているだけでも、災害時には役に立つことも多いかと思ひます。女性や子どもたちの視点も忘れず、日頃からの訓練をこれからも大切にしていきたいものです。(事務局)



浜甲子園地区 「防災マップ作成会」

(災害図上訓練・まち歩き作戦会議)



8月2日(土)浜甲子園団地中央第2集会所に於いて、浜甲子園地区「防災マップ作成会」(災害図上訓練・まち歩き作戦会議)が開催されました。

浜甲子園団地防災会など多数の方々に参加され、浜甲子園地区で最も危惧される「武庫川氾濫、津波災害」を想定災害(テーマ)に、災害図上訓練(DIG)を実施しました。

参加者がグループに分かれて、意見を話し合い、「地域防災マップに記載する情報」をまとめ、まち歩きチェックリストにその内容を記入し、その後「まち歩き作戦会議」でまち歩きの方法を伝授しました。災害図上訓練やまち歩きを通じて、防災に役に立つことを楽しみながら地域の中で再点検し、防災意識の啓発につなげるため実施しました。



また、11月1日(土)、「防災マップ検証会」が開催されました。

この検証会には、各地区防災会の方々が出席され、前回の「まち歩き作戦会議」の後、グループ毎「まち歩き」を実施していただき、実際に目で確認し、情報の点検や新たな情報収集を行ったチェックリストにより、作成された地図を基に「防災マップ検証会」を実施しました。(事務局)

高木秋まつり

10月12日(日)、西宮市の高木公園にて高木秋まつりが開催され、すっかり恒例となった魚釣りゲームを実施しました。



台風のため開催が危ぶまれましたが、雨が降ることもなく、予定通り行うことができました。公園には、午前中から大勢の子どもたちが集まり、各

ブースに行列ができました。本会が行った魚釣りコーナーにも、たくさんの子供が参加してくれましたが、終了時



にカウントしてみると、その数は300人ちかくに達していました。ボランティアの方々のご協力のおかげで、これだけ多くの子どもたちに魚釣りゲームを楽しんでもらうことができました。ご協力ありがとうございました。(事務局)

Nごよみ

今後の予定・講演などのスケジュール

- | | | |
|-----|------------------|-------------------------------------|
| 11月 | 19日 | 親子で防災講座(西宮市) |
| | 20日 | コーディネート事業「フリートークの日」(西宮市) |
| | 22日 | ボランティア体験セミナー(西宮市)
3団体連携防災訓練(西宮市) |
| | 23日 | KSNプロジェクト交流イベント(西宮市) |
| 12月 | 30日 | 第2回災害ボランティアコーディネーター養成講座(伊勢市) |
| | 第4回子ども防災クラブ(西宮市) | |
| | 13日 | 災害ボランティアコーディネーター養成講座(大阪府柏原市) |
| | 14日 | 第3回災害ボランティアコーディネーター養成講座(伊勢市) |
| | 17日 | ぼうさい探検隊マップコンクール審査会(東京都) |
| 1月 | 18日 | KSNクリスマス会(西宮市) |
| | 21日 | 西宮浜地区防災マップ作成会「第2回検証会」(西宮市) |
| | 9~11日 | チャリティーカレンダー市(西宮市) |
| | 17日 | 1.17行事「震災20周年行事」 |
| 2月 | 24日 | 浜甲子園地区防災マップ作成会「第2回検証会」(西宮市) |
| | 24日 | 第5回子ども防災クラブ(西宮市) |
| | 25日 | 防災親子講座(伊丹市) |
| | 31日 | ボランティアのつどい(西宮市) |
| | 7日 | 市民活動支援講座「防災意識が被害を減らす」(西宮市) |
| | 17日 | ニュース .102発行 |
| | 21日 | 浜甲子園地区防災マップ作成会「第3回検証会」(西宮市) |
| 28日 | 第6回子ども防災クラブ(西宮市) | |



Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。

8月

- 17～20日 平成26年度野田村子どもたち西宮招待事業（野田村～西宮市）
- 19日 丹波市水害被災地へ先遣隊を派遣
- 19日 丹波豪雨災害救援支援金募集活動開始
- 21日 KSNプロジェクト「学習会」（西宮市）
- 21～24日 野田村へ西宮子どもたち訪問事業（野田村）
- 22日 丹波市へボランティア派遣（丹波市）
- 22～26日 野田村祭りに参加、仮設住宅訪問（野田村）
- 24日 丹波市へボランティア派遣、西宮市社会福祉協議会と共催（丹波市）
- 29日 丹波市へボランティア派遣、（西宮市社会福祉協議会と共催（丹波市）
- 31日 津市発丹波市行ボランティアバス応援（丹波市）
- 31日 尼崎防災マップ作成会「まち歩き」（尼崎市）

9月

- 6日 丹波市へボランティア派遣「支援活動」（丹波市）
- 10日 丹波市へボランティア派遣「支援活動」（丹波市）
- 12～16日 第23弾野田村ボランティアバス派遣（野田村）
- 13～15日 南三陸、女川被災地訪問
- 18日 丹波市へボランティア派遣「支援活動」（丹波市）
- 20日 防災講座「家庭における防災の備え」（西宮市）
- 23日 丹波市前山地区被災家庭のニーズ調査（丹波市）
- 25日 チャコネット定例会（西宮市）
- 26日 丹波市前山復興支援センター訪問（丹波市）
- 27～28日 佐用町訪問（佐用町）
- 28日 防災イベント「危ない！みんなでカエルさんを救い出せ」（宝塚市）
- 29日 防災講座（伊丹市）
- 30日 丹波市前山復興支援センター訪問（丹波市）

10月

- 4日 第8期津市民防災大学講義（津市）
- 4日 西宮浜地区防災マップ作成会「第1回検証会」（西宮市）
- 6日 前山地区サテライト訪問（丹波市）
- 6～10日 前山地区サテライトボランティア派遣（丹波市）
- 8日 野田村ファンクラブのつどい（西宮市）
- 9日 NVNAD理事会（西宮市）
- 10日 前山地区被災家庭訪問（丹波市）
- 12日 高木秋祭りに参加（西宮市）
- 18日 前山地区サテライト訪問（丹波市）
- 19日 佐用町訪問（佐用町）
- 20日 コーディネート事業、「フリートークの日」（西宮市）
- 23日 コーディネート事業、「フリートークの日」（西宮市）
- 24日 前山地区サテライト訪問（丹波市）
- 25日 第3回子ども防災クラブ（西宮市）
- 26日 KSNプロジェクト交流イベント（西宮市）
- 29日 佐用町訪問（佐用町）

11月

- 1日 浜甲子園地区防災マップ作成会「第1回検証会」（西宮市）
- 1～2日 野田村フリーマーケット開催（野田村）
- 2日 野田村子どもたち西宮訪問報告会（野田村）
- 5日 西宮総合防災訓練に参加（西宮市）
- 8日 西宮子ども森林体験ツアー（篠山市）
- 15日 第1回災害ボランティアコーディネーター養成講座（伊勢市）
- 16日 防災ふれあいウォーク（西宮市）
- 17日 ニュース .101発行
- 17日 コーディネート事業「フリートークの日」（西宮市）
- 17日 尼崎市防災マップ作成会（尼崎市）



新規・継続会員のみなさま（2014年8月1日～2014年10月31日）

個人正会員：「継続」 背野 勝美
 個人賛助会員：「新規」 中島 久美子
 個人賛助会員：「継続」 上野 由紀子

寄付者のみなさま（2014年8月1日～2014年10月31日）

「一般」：近畿ろうきんNPO寄付システム契約者の皆様、渥美 秀三、渥美 久栄
 藤村 暁子、マスダ ナオキ、坂口 貞雄、渡辺 清武、渡辺 満枝

募金者のみなさま（2014年8月1日～2014年10月31日）

「東日本大震災」 松崎 恵子、岡崎 繁代、今井 千郎、高木秋祭りにご来場の皆様、古塚
 ヤマウチ キミエ、アイテイゴゴロク ナカカ、グッドス ナカヤマ ヨシ
 「丹波市水害」 大江 良一、田中 敏夫、田中 和子、サワダ タクジ、小野塚 彩子、田中
 オオマガリ マサミ、ムロサキ ヨシテル、イバラキ ヒロミ
 マスタニ ヨウコ、イトウ ユミコ、イナグマ カズエ、広瀬 耀子
 三橋 雅子、家城 瑠唯子、中山 圭子、前田 正雄、三浪 富士子
 ツルタニ カヨコ、コウシエンスポーツネットワーク、齊藤 志織
 マツモト キヨコ、石川 愛、大竹 ふみよ、忽那 須美男、多田 和子
 三好 紀昭、魚島 侑子、ヒラサワ ミチコ、高橋 聡子、梶 昌代、小林 良彦
 小林 静子、山岸 春治、スミダ ニロウ、掛田 紀夫、和泉 保男、大里 恵子
 鈴木 憲一、小澤 良明、河野 昌弘、貫牛 利一、戸口 京子、北村 和夫
 坂手 勝廣、平谷 真彦、北田 藍紀、星野 典子、中野 敏彦、宮城 久代
 平井 芳明、今井 曜子、後藤 恵美子、吉田 将三、藤村 暁子

ご協力いただいたみなさま

株式会社高山堂

（順不同、敬称略）

ご支援、ご協力ありがとうございました。

尚、振込みで、いただいた方につきましては、振込名で、ご紹介させていただきましたので、ご了承下さい。

2015年！恒例のチャリティーカレンダー市開催

開催日：2015年1月9日（金）・10（土）・11（日）の3日間
 会場：西宮市役所 東館8階 大ホール

時間などの詳細につきましては、決定次第ホームページやブログ等でお知らせいたします。
 又、カレンダー市を手伝って下さるボランティアも募集させていただきますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

～カレンダー市の趣旨～

皆様からご提供いただいたカレンダーを販売する好評のチャリティーバザーです。
 売上金は、国内外の災害（東日本大震災、丹波市豪雨災害ほか今後の災害）に対する支援活動の直接・間接費用として使用させていただきます。（事務局）

編集後記

来年1月17日は、阪神・淡路大震災から20年目を迎えます。NVN（西宮ボランティアネットワーク）が発足して20年、1月31日（土）には「ボランティアのつどい」を開催し、震災当時のことを振り返りたいと思っています。（H.T）

認定特定非営利活動法人 **日本災害救援ボランティアネットワーク**〔NVNAD〕

〒662-0854 兵庫県西宮市櫛塚町2番20号 西宮商工会館南館 TEL0798(34)9011 FAX0798(34)9022
<http://www.nvnad.or.jp/> 発行人：渥美公秀 編集人：伴美代子